

クラス番号	602	担当教員名	堀場 純矢
テーマ	子どもの社会的養護について考える ～ 児童養護施設を中心に ～		
著書・論文	<p>研究課題：児童養護施設でくらす子どもと親の生活問題，児童養護施設職員の労働問題。 主著：『施設で育った子どもたちの語り』（明石書店），『児童養護施設でくらす発達障害の子どもたち』（福村出版），『改訂 子どもの社会的養護』（建帛社），『児童養護と青年期の自立支援』（ミネルヴァ書房），『子どもと福祉』vol.1-5（明石書店），『子どもの貧困白書』（明石書店）</p>		
研究課題等	<p>主論文：「現代日本の児童養護問題」『金沢大学大学院人間社会環境研究科・博士論文』，「子どもの貧困と児童福祉改革の動向」『医療・福祉研究』21号，「児童養護施設職員の労働環境の改善に向けて」『月刊 福祉』2011年10月号，「児童養護施設における大学進学問題」『日本の科学者』2011年9月号，「児童養護施設生活経験者の生活と意識」『日本福祉大学社会福祉論集』124号，「児童養護問題の階層性」『厚生指標』56巻10号。</p>		

ゼミナール概要

キーワード： 子どもの社会的養護，児童養護施設，子どもの貧困，子ども虐待，階層性，労働・生活問題

1. 目的：このゼミは、以下の目的で取り組みます。

- ①子どもの社会的養護に関する諸問題について，社会のしくみと関連づけて構造的に捉える力を身につける。
- ②ケアの受け手（子ども，家族）と担い手（職員），双方の人権を保障することの重要性について学ぶ。
- ③文献研究，レジュメ作成，司会・討論・プレゼンテーション，調査，論文作成の方法などの演習をとおして，卒業論文の作成に向けて必要な力を身につける。
- ④施設職員，施設生活経験者との学習・交流をとおして，子どもの社会的養護について体験的に理解を深める。

2. 内容

学内でのゼミ活動（3を参照）以外に，児童養護施設生活経験者の当事者団体，全国児童養護問題研究会全国大会，日本福祉大学社会福祉学会（学内学会）などに参加し，施設職員・施設生活経験者・他大学の学生との交流・学習活動を行います。とくに2013年6月28，29日に開催予定の全国児童養護問題研究会第42回全国大会は，美浜キャンパスで開催予定のため，それに向けての準備や当日の運営にも学生の実行委員として参加します。その他，ゼミ合宿，ゼミのコンパなども，学生主体で企画・実施しています。

※このゼミを希望する学生は，エントリーシートに，①社会的養護について関心を持っているテーマと概要，②卒業後に考えている職業（現段階で）についても記載して下さい。なお，面談の前までに，前述した教員の著書のうち，『施設でくらす子どもたちの語り』，および，『子どもと福祉』vol.1-5のうち，いずれかを読んでおくこと。

3. 授業計画

- ・3年：①関心のあるテーマごとにグループ作業・報告・討議，施設見学，②学内学会（5月末），全国児童養護問題研究会全国大会の準備・当日の運営（愛知・6月末）への参加，③夏休みの課題の報告，④子どもの社会的養護に関する専門書をもとにレジュメ作成・報告・討議，⑥卒論に向けての個別発表と討議，卒論の体裁・書き方。
- ・4年：①卒論のテーマと概要に関する個別発表と討議，②卒論の執筆，中間発表，③卒論完成・提出，報告会。

担当教員からのメッセージ



このゼミは、①積極的に仲間と議論し，学び，高めあう姿勢のある学生，②将来，児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設などの児童福祉施設，児童相談所などの現場で働きたいと考えている学生を歓迎します。なお，保育課程を履修している学生に限らず，②の職種を目指している意欲ある学生（社会福祉士のみの取得）も歓迎します。